

2. 基本方針

「本との出会い・人との出会い」を大切にし、“地域に根ざした誰もが利用しやすい市民から親しまれる図書館”、“市民の暮らしやまちづくり・地域の課題解決に役立つ図書館”を目指し、サービスの充実に取り組む。

1. 地域の情報センター機能の充実

市民の主体的な学習への支援や、多様な読書要求に対応するため、計画的な資料の収集・蔵書の更新・整備を行う。幅広い資料要求に応えるため、図書館間の相互協力を図り、必要な情報を的確に提供する。参考図書や地域資料（郷土・行政資料）を収集・整理し、レファレンスや読書相談の充実に図る。

2. 子ども読書活動の推進

移動図書館車(ぶっくる号)による巡回文庫の充実を始め、学校・幼稚園・保育所など、関係機関との連携の強化・拡充を図る。子どもと本をつなぐボランティアの育成や活動支援など、市民との連携・協力を進め、子どもを取り巻く読書環境の充実を図っていく。保護者を含め、子どもの周りにいる大人への啓発など、家庭における読書活動の推進に向けて取り組みを進める。

3. 市民の図書館利用の促進

各種講座や展示コーナーなどのほか、他の部署や地域との連携・協働による事業展開を進める。広報誌やホームページなどを通じて、図書館の事業や資料などの情報を積極的に発信し、図書館利用の拡大に努める。また、高齢や心身の障害等で来館が困難な方に向けて、郵送サービスを実施する。